

質 問 書

2021 年 11 月 17 日

「パプアニューギニア国森林伐採モニタリングシステム改善を通じた商業伐採による森林劣化に由来する排出削減プロジェクト」（公示日：2021 年 11 月 4 日／調達管理番号：21a00793）について、質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	21 ページ(4)「機材調達に係る業務」について	機材調達につきまして、現地渡航後に現地の状況を確認し、必要性を確認し、調達すべき機材のスペック及び台数を確定させるとありますが、プロポーザルに添付する見積書作成の段階でどのように計上すればよろしいでしょうか？	プロポーザル作成時においては、機材調達の内容確認のための経費を計上いただき、内容確認後、必要があるとすれば、調達すべき機材の経費を協議の上で契約変更により契約金を見直し、調達することとなります。
2	23 ページ(2)「本邦研修に係る業務」について	本業務の主担当は長期専門家とされていますが、タイミングや回数などは想定されていますでしょうか？ また、定額で計上する技術研修費 2,000 千円は、この本邦研修にかかる経費でしょうか？	本邦研修は 2023 年度に 1 回予定しており、経費は第 2 期に計上いただけますでしょうか。また、この 2,000 千円については、本邦研修の費用として資料の作成、講師派遣、視察への同行などを想定しています。
3	27 ページ(3)「現地再委託」について	「PNG-FRIMS の保守・点検や関連機器の入れ替え等に係る業務」につきまして、現時点で機器の入れ替えの必要性、数量などが未確定だと認識していますが、どのような作業を見込んで積算を行えばよろしいでしょうか？	1 番と同様ですが、現時点では作業の必要性の確認のための経費を計上し、現地渡航後に必要性が認められる場合には、契約変更により契約金を見直すこととなります。なお、コンサルタントが直接実施することが可能な場合は現地再委託にこだわる必要はないかと考えております。

通番号	当該頁項目	質問	回答
4	29 ページ(6)2「対象国の便宜供与」につきまして	追加車輛はパプアニューギニア国内のどこにいつ配置される見込みでしょうか？見積書作成の段階ではどのように想定すれば良いでしょうか？また、ポートモレスビー(PNG 森林公社)に配される場合は、ホテルからプロジェクトオフィスなどの行き来のためのレンタカーの計上は、基本的には認めないということでしょうか？	ホテルからプロジェクトオフィス間を移動するレンタカーについては、現地の治安上やむを得ないと思いますので、計上を認めます。また、追加車両はポートモレスビーの森林公社内に配置される予定です。配置時期は来年度の早い段階を想定していますが未定です。出張時はこの車両を使っていただくこととします。また、今後、プロジェクトで調達した車両にてホテルと事務所間の送迎が可能となる場合、経費の見直しを行う場合があることについて、ご了承いただきたく、よろしく申し上げます。

以上